

企画 構成 段階

- ターゲット設定を明確化
- 動画制作の目的やテーマ、発信内容を設定
- シナリオ制作および演出方法を企画
- 撮影ツール、編集ツールの決定

実施協力：

- ・NPO法人Earth as Mother
- ・愛知県食生活改善推進員協議会
- ・一般社団法人日本フード&ヘルス協会
- ・株式会社篠島お魚の学校
- ・日本野菜ソムリエ認定料理教室「Maman's Dream」
- ・平野 あけみ

※50音順・敬称略

各団体共同で動画制作の企画構成を始めるミーティングを行い、その後各団体にて企画・シナリオを考案し、お互いに発表し合って動画の制作をスタートした。

動画の企画構成

協力団体にてターゲットの設定や取組の目的の明確化を行った。動画の企画概要として、検討を行い各団体にて企画構成シートを作成した。

【動画企画構成シート】

- ①ターゲットの設定
：誰に見てもらいたいのか？
- ②情報発信内容の設定
：見た人に何を伝えたいのか？
- ③動画の演出や工夫
：②をどのように伝えるのか？
- ④動画タイトル

課題・工夫した点等：

★ひとりで企画を考えると煮詰まってしまうが、**第3者と相談しながら企画を進めると考え方が整理できてよかった。**

★**子供が見る動画であれば「生きもの」を入れた方が良いというアドバイスもあり、生き物を多めに入れることとした。**

シナリオ作成

各制作団体にて、動画の長さ、撮影場所、出演者、素材探しを行ったうえで、下記の起承転結に従いシナリオを作成した。

【シナリオ構成シート】

- 『起』ストーリーが始まり
映像の意図を伝える
- 『承』ストーリーを展開させていく
- 『転』ストーリーを転換し
視聴者への印象を与える
- 『結』テーマを具体的に示し締め
くくる

課題・工夫した点等：

★動画の**時間内で伝えたいことが多く、内容を整理して絞り込むことが難しかった。**また、**起承転結のストーリーをどのように展開し、どのように映像にインパクトを持たせるか**について悩むところだった。

撮影・編集ツール等の検討

課題・工夫した点等：

★どんな機材を使用して撮影や編集を行うかの検討を行った。**今回の実証では、費用をなるべくかけず、所有している機材で制作を行った。**

使用機材

- ・撮影：スマホ(タブレット)
- ・編集：Windows PC(タブレット)



撮影 段階

- 出演者、撮影者の決定
- 事前に撮影場所の下見を行い、撮影場所や撮影日時を決定
- 撮影に必要な小道具や材料、衣装などを準備
- シナリオに従いシーンごとに撮影

実施協力：

- ・ NPO法人Earth as Mother
- ・ 愛知県食生活改善推進員協議会
- ・ 一般社団法人日本フード&ヘルス協会
- ・ 株式会社篠島お魚の学校
- ・ 日本野菜ソムリエ認定料理教室「Maman's Dream」
- ・ 平野 あけみ

※ 50音順・敬称略

各団体の設定した企画シナリオに従い事前に下見や撮影準備の上、撮影を行った。屋外の撮影では天候などにも大きく左右され撮影できないことも多かった。動画撮影の際にはカメラを固定して撮影するための三脚があると良い。

撮影場所の選定、下見等

課題・工夫した点等：

- ★ 田んぼでの撮影を行ったが、**屋外での撮影は自然との兼ね合いで状況が変わるため、何度も下見を行う必要があった。**特に鳥の撮影は難しく、いろいろな天候や気温、時間に下見を行い、鳥が来るタイミングを調べたうえで撮影を行った。



冬水田んぼの下見の様子



有機循環自然農法でおいしいお米を育て、食べよう！

撮影できた鴨

撮影準備

課題・工夫した点等：

- ★ **照明によりカメラの影が映り込まないように工夫した。**自宅にあった木の棒と段ボールとバケツを使い、スマホを固定して俯瞰で撮影できるセットを作成。



- ★ 今回の撮影と将来の動画作成のために、ライトボックスを2つ用意した。スマホは元々持っていた小さな三脚を利用し、箱の上に乗せて高さを調節した。

撮影

課題・工夫した点等：

- ★ **撮影はもっと簡単だと思っていたが思ったより時間がかかった。**料理工程も時間がかかり、右左の向きの間違いでやり直しなど。
- ★ 通常、冬の時期は海藻が豊富に採れるが、**今年は不漁で撮影できず、動画の構成を変更せざるを得なかった。**



- ★ **室内の撮影時にエアコンをつけており、その音をマイクが拾ってしまったため、電源を落として再撮影した。**また、お湯を沸かす電気ポットを使用予定だったが、この音がマイクに入ってしまったため湯沸かし機を変更した。

編集 段階

- 動画素材や画像・イラストをソフトに取り込む
- 無言部分や余分な動画など不要なシーンをカットしていく
- 重要なシーンなどにテロップや画像、イラストなどを挿入
- 明るさなど画質や音量を調整
- BGM・効果音の挿入

実施協力：

- ・ NPO法人Earth as Mother
- ・ 愛知県食生活改善推進員協議会
- ・ 一般社団法人日本フード&ヘルス協会
- ・ 株式会社篠島お魚の学校
- ・ 日本野菜ソムリエ認定料理教室「Maman's Dream」
- ・ 平野 あけみ

※ 50音順・敬称略

動画ソフトをダウンロードして撮影した動画を取り込み、編集作業を実施。全行程の中では編集作業が一番戸惑う方が多く、作業時間も想像より長くかかったとの声が多かった。

ソフトのダウンロード・素材取り込み

課題・工夫した点等：

★動画編集の際に無料のソフトを使用すると、**完成した動画を書き出す際に企業ロゴなどが入ってしまうことがある**ため、ロゴマークの入らない無料ソフトを使用した。(今回の実証ではVideoProc Vloggerを使用)

★フリーのイラスト集の著作権について詳細に調べたところ『**インターネットのホームページ(個人的なものも含む)では使用できません**』との記載があり、**使用できないもの**と判断した。

★撮影した動画データをスマホからPCに送る際にデータ容量が大きく、**オンラインストレージを使わないとファイルを転送できず**、そのやり方に苦労した。

動画編集

課題・工夫した点等：

★**動画編集の際にカット編集した動画を移動すると、ナレーションや音があわせて移動されなかった**ため、動画と音声の位置をそれぞれに修正する必要があった。



★**撮影した動画の中に、思いもよらぬ音が入ってしまっている**ことがあり、映像と音を切り離すのに苦労した。

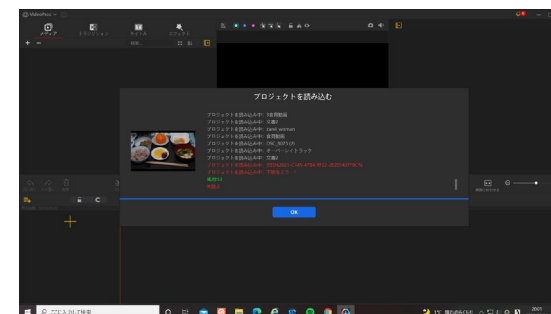
★静止画をたくさん撮っておくといいう助言があり、**多めに撮っておいた画像が編集段階で役立った**。

仕上げ段階

課題・工夫した点等：

★イラストを作成してテロップや説明画面を作成した際、**エクセルで作成したものが動画のサイズに合わずパワーポイントで作り直す**など苦労した。

★動画ができ上がり、**データの書き出しをしたところエラーが生じてデータが壊れてしまい、最初から作り直す**ことになってしまった。制作途中段階のデータを保存しておくべきだった。





よくあるトラブル

動画の良し悪しは、企画段階で決まる！

- 動画の企画をするにあたり「誰に」「何を」「どのように」伝えるかを事前に考えることが重要です。ターゲットが明確になっていないと漠然としたイメージの動画となり、見る人の心を惹きつけられません。
- 動画制作に初めて取り組む際には、『1テーマ(企画)=1コンテンツ』を念頭に、動画のテーマや企画はシンプルにしましょう。初心者があれもこれもと盛り込んだ動画は、内容が散漫になってしまい見る人の印象に残りません。
- 伝えたいテーマが多くある場合には、継続的な『シリーズ動画』を想定し、一つひとつの動画制作は無理なく、定期的に動画コンテンツをアップできる体制を整えましょう。
- SNSでの動画の再生回数は、動画のクオリティよりも企画内容の面白さに左右されます。自分たちの活動内容、特色、人間性や地域性等を生かし、『企画で人を惹きつける』動画を目指しましょう。



よくあるトラブル

見切り発車は失敗のもと!? どんな演出の動画をつくるかを想定！

- 掲載するSNS等によっても、適切な動画の長さは変わってきます。参考となるSNSアカウントやチャンネルをリサーチし、適切な長さを設定しましょう。
- 撮影の前には動画の大まかな構成や演出を決めましょう。動画を進行するのは登場人物なのか？ナレーションやテロップなのか？必要な情報は撮影時に言葉で伝えるのか？編集時にテロップなどで伝えるのか？などを決めておきましょう。
(例) 登場人物(進行役やゲスト)の有無 / ナレーションやテロップ / BGM / 参考資料(写真やイラスト等)の有無など



よくあるトラブル

撮影前のイメージづくりが大切！動画の設計図となる台本を作りましょう！

- 例えば料理動画の場合、オープニング / 食材紹介 / 料理 / 試食 / クロージングなど、まずは大まかな流れを企画します。その際に動画のストーリーの起承転結やメリハリを意識して、一番大切なシーンを意識して構成を考えましょう。
- それぞれのシーンで、どんな映像とどんな言葉や情報(撮影時のコメント / ナレーション / テロップ / BGMなど)が必要なのかをのれのないよう台本化しておきます。カメラを複数台使用する場合は、それぞれのカメラが何を狙うべきかも想定しておきましょう。
- 台本は、撮影・編集時に常に手元に置き、その都度見返したり、必要に応じてメモを書き足したりしていきます。



よくあるトラブル

スマホ・カメラで動画が撮影できない、撮影時のトラブル!?

- ・ 撮影前にスマホやカメラのデータ容量を十分に確保してから撮影に入りましょう。また、機材の使い方やバッテリーの残量なども前もって確認してから撮影に臨むように心がけましょう。
- ・ バッテリー切れには注意しましょう。動画撮影時はバッテリーの消耗が激しくなります。もしものためにモバイルバッテリーなどを用意しておきましょう。
- ・ 撮影開始時には必ず録画ボタンを押したことを確認しましょう。万が一、撮り逃した場合に再撮影にならないようサブのカメラで2台同時に録画しておくことも有効です。
- ・ スマートフォンで撮影の場合は横向きにして撮影しましょう。一般的な動画は横向き表示が基本です。（InstagramストーリーやTikTokなど、用途によっては縦向き撮影が適している場合もあります。）
- ・ せっかく撮影してもピントが合っていない映像は使えず、撮影のやり直しになってしまいます。スマートフォンの場合はピントを合わせたい位置にタッチ、デジタルカメラの場合はオートフォーカスにするなど設定をチェックしましょう。



よくあるトラブル

撮影や編集した動画データが消えてしまった!? バックアップに関するトラブル

- ・ 撮影したデータを取り込む際はフォルダ名や日付などをしっかりと明記し、整理するように心掛けましょう。撮影や編集後の動画データを間違えて消してしまうと復旧は困難で、作業のやり直しになってしまいます。撮影や編集した動画データは必ずバックアップをしておきましょう。



よくあるトラブル

音声が入っていない、聞き取りづらい!? 音声に関するトラブル

- ・ 撮影後に音声が入っていない、車の音、風の音等が大きく入ってしまい音声が入りづらいといったトラブルがあります。本番前に同じ場所でテスト撮影し、録画データをパソコンなどで音声が入っているか確認してみましょう。カメラに外付けのマイクを接続すれば、音がクリアに聞き取りやすくなります。万が一、撮影した動画の音声に問題があり撮影のやり直しができない場合は「ナレーション」や「テロップ」「BGM」等の編集で工夫しましょう。
- ・ 撮影時にはテレビやラジオ、空調や換気扇、電化製品の音にも注意してください。音が入ってしまわないよう撮影前に電化製品の電源をオフにすることを心がけましょう。